

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第177号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年5月18日 15時50分ごろ	
発生場所	徳島県徳島小松島港 小松島市横須町小松島南防波堤灯台から真方位297°600m付近 (概位 北緯34°00.6′ 東経134°35.5′)	
事故等調査の経過	平成22年8月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第八末 ^{すえひろ} 広丸、731トン	
船舶番号、船舶所有者等	134668、船越産業株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	ビルジキールに曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、珪石約1,505トンを積載し、船首約3.6m、船尾約5.5mの喫水で、徳島小松島港において離岸作業中、平成22年5月18日15時50分ごろ、浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、徳島小松島港において低潮時に離岸作業中、水深の確認を行っていなかったことから、浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、徳島小松島港において低潮時に離岸作業中、水深の確認を行っていなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	